

16. 真に必要な社会資本の整備等の推進と維持管理の充実について

【国土交通省、農林水産省】

《提案・要望事項》

- 1 道路、砂防、河川、ダム、まちづくり関連、下水道、農業農村、治山など、地方が必要と判断し実施する社会資本について、整備及び維持管理が確実に実施できるよう必要な財源を確保すること。
 - ・道路街路：国道153号伊那バイパス、木曾川右岸道路、松本糸魚川連絡道路など
 - ・河川砂防：浅川ダム、松川ダム再開発、通常砂防中条川（栄村）など
 - ・農 林：農業競争力強化基盤整備事業烏川、復旧治山事業栄村など
 - ・下 水 道：千曲川流域下水道など
- 2 国の責任で実施すべき直轄事業については、地方の意見や実情を十分踏まえ、一元管理化と着実な整備を進めること。
 - ・道 路：中部横断・中部縦貫・三遠南信自動車道、国道18・19・20・153号など
 - ・河川砂防：千曲川・犀川・天竜川・木曾川、産屋沢など
 - ・公 園：国営アルプスあづみの公園
 - ・農 林：国営施設機能保全事業伊那西部、民有林直轄治山事業小谷村など
- 3 大規模構造物以外の河川施設の維持修繕、ダム貯水池内の堆積土除去、透過型砂防堰堤の除石及び地すべり防止施設の維持修繕等について、昨年12月の社会資本整備審議会の答申も踏まえ補助対象とすること。

《提案・要望の考え方》

【現況、課題等】

- 1 県土が広く急峻な地形と脆弱な地質が分布する本県においては、地域の安全で安心な暮らしを守るために必要な社会資本の整備を着実に進めることが求められている。

急峻な地形と脆弱な地質等	土石流危険渓流数	5,912 渓流	全国 8 位
	地すべり危険箇所数(国交省所管)	1,241 箇所	全国 1 位
遅れている社会資本の整備	国・県道改良率	68.3%	全国 3 6 位
	県管理の一級河川改修整備率	38.5%	—
遅れている農業生産基盤の整備	水田(区画30a以上)の整備率	23.7%	全国 4 0 位

- 2 社会資本の多くは、高度経済成長期に整備され、施設の老朽化が進んでいる。

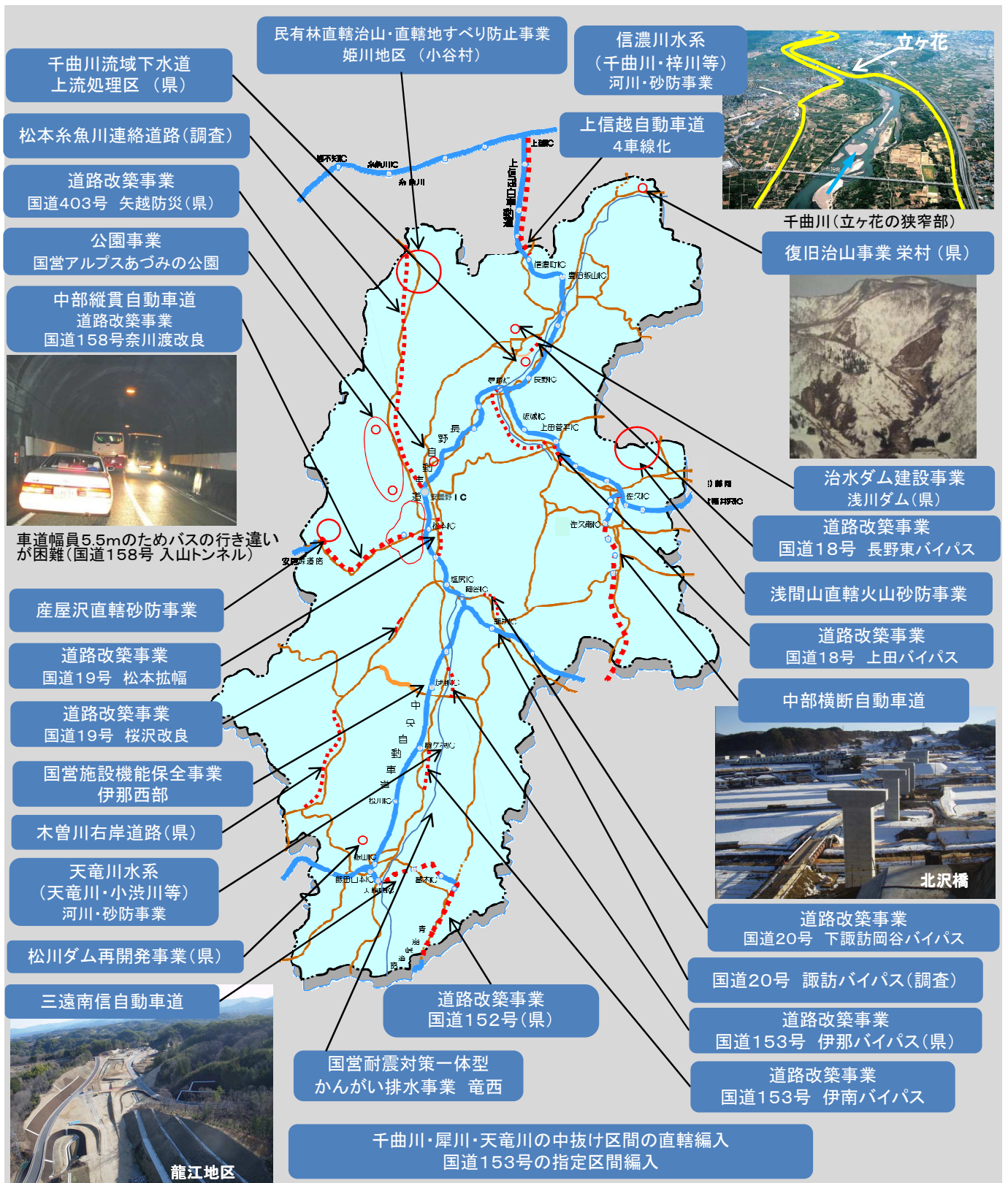
50年以上を経過する県管理の道路橋	平成24年現在 28% → 20年後 69%
40年以上を経過する県管理の河川施設	平成25年現在 6% → 20年後 86%
40年以上を経過する農業用水路	平成25年現在 29% → 20年後 53%

- 3 厳しい財政状況の中、既存施設の維持・保全に重点的に取り組んでいるが、管理数が多く、また、費用が年々増加傾向にあり、十分な予算の確保が困難になりつつある。
- 4 維持修繕の大半は、現行制度では補助事業・交付金事業の対象となっていないため、地方公共団体の負担が大きくなっている。

【長野県内の取組】

- 1 地域の安全・安心を確保し、確かな暮らしを守るために、ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策を進めている。
- 2 本県の産業・経済活動を支える高規格幹線道路・幹線道路網の整備を促進するとともに、安全で快適な生活道路の整備を推進している。
- 3 適切な維持・管理を行うために長寿命化計画を策定するなど、道路等の維持管理費の平準化とライフサイクルコストの縮減等の取組を行っている。

(県所管部局) 建設部、農政部、林務部、環境部



道路橋の老朽化状況



《支承(ししょう)・桁の劣化》
(国)147号 安曇野市 穂高橋

ダム貯水池の堆砂状況



長野市 奥裾花ダム

**透過型砂防堰堤の
土石・立木の捕捉状況**



栄村 中条砂防堰堤